



オーストラリア林業規格 (Australian Forest Standard: AFS) は森林の価値を守ります

(2011 年 12 月 23 日)

国際 PEFC の事務局長、ベン・ガニバーグは本日付けの声明書の中で、「森林が与える生物多様性の価値を保護することは、PEFC の持続可能な森林管理に対する取組みの核心部分に関わるものです。責任ある林業は、森林が提供する多数の恩典が維持、拡大されていること、また、我々の子供たちが、現在我々が享受している森の価値を現在と同等あるいはそれ以上に享受できることを確実にしなければなりません。」と述べました。

地元オーストラリアの NGO は、最近の声明において PEFC の承認を受けているオーストラリアの森林認証制度 AFS は「保護価値の高い森林」や「原生林」を十分に保護していないと主張しています。

ベン・ガニバーグはこれに関し、「PEFC には、生態学的に重要な森林地域の保護に関する厳格な要求事項があり、AFS はそうした PEFC の要求事項を満たした上で承認を受けているのです。」と述べました。

国際 PEFC の持続可能性基準は、重要性を有する森林区域の保護にかかわる多くの要求事項を盛り込んでいます。

例えば、

- ・希少である、危機に瀕している、あるいは絶滅が危惧されている生態系の中、または、それを含む区域
- ・地球、地域、及び国において非常に重要な生物多様性価値または絶滅危惧種が集中している地域
- ・基本的な生態系の有用（例えば水流保護、浸食管理など）が危機的な状況ある地域
- ・地球、地域、及び国において重要で広大な景観レベルの区域で、全てではないとしても殆どが自然発生種である生育可能な集団が、自然な分布のパターンと豊富さをもって存在するもの
- ・地元社会の基本的ニーズ（例えば財産や健康など）を満たすに不可欠な地域
- ・地元社会の伝統的、文化的なアイデンティティーの上で不可欠な地域

より詳細な情報は、「PEFC の持続可能な森林管理要求事項」をご覧ください。

PEFC 承認のプロセスは、独特のものであり、その厳格さのレベルは森林認証の世界で比類ないものです。ジュネーブを本拠地とする我々の組織は、すべての森林認証規格がそれぞれの国のレベルにおいてコンセンサスをベースに、マルチステークホルダー（多元的な関係者の参加）式のプ

プロセスにより、全国的な公開協議を経て策定されることを要求しています。

PEFC による承認（あるいは再承認）を達成するためには、各国の森林認証規格は、第三者による査定と公開協議を含む包括的かつ徹底した評価のプロセスを通過しなければなりません。このプロセスに関する最終的な総合報告書は、一般公開されます。承認は通常 5 年間に限り有効であり、再承認にはそのための改正が求められます。

苦情処理や不服申し立ての手順としての恒久的なメカニズムが、すべてのステークホルダーのために常に利用可能であり、ステークホルダーは承認された各国の森林認証規格による PEFC の持続可能性基準への適合を監視したり、どの時点においても不適合に関する注意喚起をすることが出来ます。

ベン・ガニバーグは、「我々は可能性のあるいかなる不適合についても、これを調査することを確約します。しかし、そのような調査はそれが証拠に基づいている場合にのみ実行されます。今回の NGO による主張は、残念ながらこれまでのところそのような証拠による裏付けを伴っていません。従って、我々は、AFS 規格に適合する形で管理された森林は持続可能であり、生物多様性の価値を守り、環境的・社会的・経済的な利益のバランスがとれているものであることを確信しています。」と述べました。

*この和訳文書は、あくまでもご参考文書としてご使用頂くものであり、正式な文書は英文によるオリジナル文書です。